

「なぶらプロジェクト」活動報告書

岩手県上閉伊郡大槌町への災害ボランティア活動！！

第1便～第6最終便

平成23年4月～9月



御前崎災害支援ネットワーク

「事務局」〒437-1612 静岡県御前崎市池新田5408-1

TEL/FAX 0537-86-2053 CATV 86-6510

Email omaezaki-dsnet@shore.ocn.ne.jp

報告日：平成23年11月1日

『なぶらプロジェクト定期第1便』活動報告！！

文責:御前崎災害支援ネットワーク 会長 落合美恵子(敬略)

4月15日午後7時御前崎市役所前から岩手県大槌町へいざ出発！！

お陰さまで31人の参加者となりました！大槌町出身者2名も一緒でしたよ！ 寄付していただいたスコップ、ジョレン、一輪車(御前崎市建設業組合)、御前崎市名入りプランター、お花(東海プランテーション)、カツオのぼりを乗せ、「なぶらプロジェクト御前崎ボランティア」の表示マグネット(アートスポット)を貼り出発です。



(社員参加費負担はエイケン工業、広和工業)(高額寄付は広和工業、未来教育舎)(茶飴はまるよ製茶、水は長尾レッカー、子供マスクはワークマン)

4月16日午前中は大槌町沢山地区で浸水した家の庭の片付けです！



広い庭には木の破片、布団、服、お金、車、冷凍がそのまま溶けて腐っている魚のかたまりなど様々な瓦礫の片づけをしました。しかし、何から片づけてよいやら??どこから手をつけてよいやら??とにかくみんなで手分けしてきれいに片づけることができましたよ！！(防塵マスクは浜岡綜研)

午後から大雨と雷で活動は中止。県立大槌高校で…。見て！見て！！

避難所になっている体育館の前に御前崎市名入りのプランターに花を植えました。サッカーグラウンドにはカツオのぼりを5匹と吹き流しを揚げてきました。



4月17日午前中は中止された続きの片づけ。感謝！感謝！！

町内会の皆さんから感謝のお言葉をいただきました。こちらこそ！短い期間でほんの小さな力でしかないのに…感謝！感謝！！でした！「また、必ず来ます！」と約束して帰ってきました。本当にありがとうございました！ 宿泊させていただいた静岡県危機管理局、静岡県V協会さんありがとうございました！！



*なぶらプロジェクトは毎月第3週目に出発します。

【問合せ】電話/FAX 0537-86-2053 CATV86-6510 落合まで

「なぶらプロジェクト定期第2便」活動報告！！

文責:御前崎災害支援ネットワーク 落合美恵子(敬略)

5月20日午後7時大槌町に向かいいざ！出発！！



今回の参加者は高校生や未成年を含む30人でした。グッと平均年齢が下がり元気はつらつと出発できました。岩手県立大槌高校の入り口付近の側溝の掃除です。側溝の中には漁に使う大きな浮き、灯油タンク、耕運機など手では拾えない物がありました。土木関係の参加者がいたためコンボで上げてもらいました。腐った物からウジが湧いていて気持ち悪い場面も…。

においも2かけ月以上も経ち顔をそむけたくなるく位の臭さでした。そんな中、作業しているほんの50M先には林から鹿が様子を見に？出てきました。海岸から約2Kmもあるのに緑に恵まれた自然豊かな町です。まだまだ片付けが進んでいない状況で長期の支援の重要性がわかりました。(社員参加費負担は清水工業、広和工業、松下工務店)



(株)YDKさんのご協力に感謝！！

大槌町ではほとんどの家屋が流され、浸水してしまっているため学校や公民館などは避難所となっています。また、広い場所には自衛隊や警察関係者等が使用しているため大槌町内には寝泊まりできる拠点が出来ません。



そこで、遠野市に場所を確保するのが一番良いのです。しかし、未知の土地で拠点を探すのは困難でした。4月の第1便は遠野市浄化センターにお邪魔させていただきましたが、今回紹介があり遠野市の(株)YDKさんの工場の会議室をお借りすることができました。歓迎パネルも玄関に立ててくれてあり、3食分のおにぎりやカップラーメンなども用意してくださいまし

た。宿泊だけで十分なのに感謝！感謝！！近くに温泉もあり助かりました。

5月22日は雨で3ヶ所に分かれ活動！

外の活動が中止になり10人は大型スーパー内の食器の片づけで終わりに店主が一人ひとりに握手で感謝の意を。他の10人は自衛隊と一緒に仮設住宅へ引っ越し人へ新しい布団を渡すお手伝い。他の10人は泥で汚れた写真の泥取りでした。

*なぶらプロジェクト第3便は6月17日出発です。まだまだ仕事は山積みです。

【問合せ】TEL/FAX0537-86-2053 CATV86-6510 Email:omaezaki-dsnet@shore.ocn.ne.jp

「なぶらプロジェクト定期第3便」活動報告！！

文責:御前崎災害支援ネットワーク 落合美恵子(敬略)

6月17日午後7時バス2台に分かれいざ！出発！！



今回は労働組と屋台組の2グループに分かれて活動しました。第2便で大槌高校の避難所で炊き出しの許可をいただき大急ぎで1ヶ月間準備しました。「御前崎屋台村」と銘打って浜松餃子、焼そば、大判焼き、桜エビとシラスを入れたお焼き、御前崎茶つゆひかりも飲んでいただきました。全種200人分は足りないくらい好評でした。射的のゲームや無料バザーも開催！！

皆さん、順番を守り出来上がりを待っていて感心です。おいしいよ～と声をかけてくれました。無料バザーもアツと言う間の20分ですべて無くなりました！夏服、下着、夏布団など必需品ですが、家が流され、商店は再開不能の状態です。手に入らず困っている人ばかりでした。屋内プール内に広げたバザー用品を皆さんわんやわんやと探している様子です。(右写真)



御前崎市内のマッサージ師、整体師さんが避難所の皆さんにモミモミ、モミモミ！これまた大好評でしたよ。カーテンで区切られた3畳ほどの狭い避難所ではゆっくりできませんからね…。頭の先から足先まで気持ちよさそうですね。



さて、毎度おなじみの労働組は吉里吉里地区の浄化センター脇の側溝の泥かきでした。住宅などの生活水が少ないことや海に近いせいか第2便の大槌高校入口の側溝より臭いはありません。しかし、砂や砂利が重いことに加え90Kg近い側溝のフタを持ち上げるのに大苦勞しました。本来なら行政作業区域ですが、大槌は行政の職員の6割が死亡や行方不明のまま…。残念です。

ボランティアでできることで被災者の役に立つのならえ～～んやこらさ～～っさのほいさっさだ！！はぁ～。しんどい。熱中症に気をつけながら休憩をこまめに取りました。昼は壊れた防波堤でおにぎり3ヶを食べましたが、ハエの大群が体にまとわりつき落ち着いて食べることもできませんでした。まだまだ支援は必要ですね。※なぶらプロジェクトは第4便は7月15日(金)午後7時出発です。



「なぶらプロジェクト定期第4便」活動報告！！

文責：御前崎災害支援ネットワーク 落合美恵子（敬略）

7月15日午後7時まだ日が沈まないうちに出発！

熱中症を心配しながら大槌町へ向かいました。案の定大槌町では他のボランティアが熱中症で病院に運ばれる事態になっていました。私たちが良く言われるのは「ボランティアを運ぶ救急車は無い！病院も被災者優先！！」そんなことから休憩は早めに、水分たっぷりと注意して

いましたが……。日陰も無く暑いなの
って言葉も出ないくらいでした！！
しか～～し！今回の片づけは4月第1便に行
った沢山地区にある「みどり幼稚園」です。
園児のためならと張り切って頑張りました！
園長先生も来てくれ園児は全員避難して無事
だと聞いて一同「あ～良かった！！」と顔を



見合わせ早くここで遊べるようにと願いつつ皆で頑張った一日でしたよ。



幼稚園の建物の周りには腐った泥が20
cmほど溜まってしまい悪臭が漂う過酷な
場所でした。その泥をかき出し、翌日最後に
大量の石灰を撒いて終了です。みんな暑い中
マスクにゴム手袋で蒸れに蒸れてクタクタ
になりました。早く元気に幼稚園に通える
ようになると良いですね。それから大槌高校
のプランターの植え替えに行きました。4
月便で御前崎市の名前の入ったプランター

と春から夏にかけて咲く花を植えて帰ってきました。今回は夏に強い花を植
え替えてきました。避難所の皆さんに声を掛けさせていただき水かけをお願い
してきました。皆さんもうすぐ仮設団地に入れるそうでそれまでは水かけを
してくれるそうです。嬉しいことに6月第3便の炊出しを覚えてくれていま
した。浜松餃子や焼きそばをおいしかったと喜んでくれましたよ！！でも……
過酷な避難所生活はより一層厳しい生活になっていました。体育館の中はカー
テンで仕切られ風通しも悪く扇風機の風は湿気を運び熱い風が吹いている中
で食事をしたり、子供たちは勉強したり、狭い場所で体を寄せ合い寝るので
す。食中毒や熱中症など体調管理が心配されますね。早く復旧し元の場所
で暮らせると良いですね。東海地震が起きれば御前崎も同じ光景が広がる
のだらうと思うと恐ろしいなと感じた第4便でした。ニーズは変わってきま
すが支援はまだまだ必要です。



「なぶらプロジェクト定期第5便」活動報告！！

文責：御前崎災害支援ネットワーク 落合美恵子（敬略）

8月19日お天気を心配しながら出発！！

天気予報は雨。降りそうな天気です。岩手県は寒い位の陽気になっていました。活動内容も「菜の花プロジェクト」と聞いただけで現地に行かなくてははっきり分かりません。個人の家や建物の片づけが一段落して今は現地の人々が中心になって復興に向かう活動になりました。現地に着き「菜の花プロジェクト」の担当者に説明を聞くと大槌町の中心を流れる大槌川には毎年秋になると鮭が遡上し鮭のおかげで町が賑わうそうです。その川が瓦礫で汚れ、川岸にもたくさんの瓦礫やゴミがあり秋までにきれいにしてお鮭を迎えたいという熱い心情を伺いました。そして、春には雪解けとともに菜の花が咲けばみんなの心も復興に向かう元気が出るはずと「菜の花プロジェクト」を立ち上げたそうです。今回の活動は川岸の清掃です。

木片や大きな石から小石まで取り除き、草を抜いて平らにして菜の花の種が蒔



けるように整地してきました。天気の心配どころか暑い日となり厳しい活動となりました。来年の春は菜の花でいっぱいになると良いですね。その頃にはもう一度大槌町を訪れて大槌川を見てみたいです。今回の参加者には中学生と高校生の女の子が参加してくれました。何にも替えられない体験になったのではないのでしょうか？ きれいにな〜〜あれ！！ きれいにな〜〜あれ！！



ふと隣の小さな小川に目をやると胸まで浸かって川の瓦礫をドロドロになって片づけていた若い人たちがいました。そこにも魚がたくさん住んでいたようですが…。塩水があがり瓦礫や泥でぐちゃぐちゃです。きれいになって魚が戻ってくると良いですね。「若者よ頑張れ〜！！」とドロドロの若者を横目にあっちゃんなくてよかったと一同ホッとしました。

「なぶらプロジェクト定期最終便」活動報告！！

文責：御前崎災害支援ネットワーク 落合美恵子（敬略）

9月16日いよいよ最終便になってしまいました！

4月第1便の出発から半年が経ち出発時刻は既に陽が落ち暗くなってからの出発になりました。到着し見渡すとだいぶ大槌町の風景が変わりました。壊れた家や建物が目の前に広がる風景から瓦礫が一ヶ所に山積みになっていた、きれいに整地され6月まで並んであった壊れた建物が嘘のように無かったのにはビックリしました。

応急仮設団地へ訪問で～す！

今回の活動は仮設団地訪問です。なぶらプロジェクト第2弾として「御前崎なぶらやすらぎレター」プロジェクトを実施することにし、一方通行でも良いので手紙を書かせていただくことにしました。目的は仮設住宅へ入居してからの自殺や孤独死を少しでも防ぐことができないか？少しでも元気になってほしいとの願いから決めました。そして1軒1軒お話を聞きながら住所と名前を教えてくださいました。合わせて翌日の「おすそわけ物資」をJA大槌支所の倉庫前で開催することを案内しました。今回

用意した物はお茶っばときゅうすや湯飲み、洗剤などの消耗品です。事前にJA大槌支所に場所を貸していただくようお願いしたら場所取りの札を立て用意してくれてあ



りました。お礼に白いガムテープに返事を書い

て来ましたよ。そしておすそわけ物資は1時間前から100人位の皆さんが暑い中並んで待っていて、

覗き込んで「あれが欲しいね、これが

欲しいね」と品定めをしていました。やっぱりお茶も急須も人気商品でしたよ！良かった～！！たった15分で全てお持ち帰り



してくれました。最後に宿泊場所の遠野市の上鱒沢地区集会所の皆さんが送別に来て下さり、鹿刺しや唐味噌を馳走してくださいました。お米もわざわざ炊いてくださり美味しく何杯もおかわりしてしまいましたよ。感謝！感謝！

なぶらプロジェクトへの ご支援・義援金・寄付金ありがとうございます

(敬称略)

★3月17日

毛布支援280枚・・・集めてくださった皆様のご協力感谢您します！
※静岡県ボランティア協会から山形県などに避難している福島第1原発事故避難者へ贈られました。
※静岡までのトラック輸送は無料で湯澤運輸(有)

★3月20日

義援金募金活動・・・カインズモール、杏林堂にて募金活動をしました。
※御前崎腎友会、御前崎市身体障害者福祉会、その他皆様ご苦勞様でした。
※店頭募金活動カラオケウェブ、ビックリ青果
ありがとうございました。
※高額募金をありがとうございました。
広和工業(有)、未来教育舎
◇福島県、宮城県、岩手県へ各々9万円、県V協会3万円を送金しました。
残金約3万円は当ネットワークの活動資金にさせていただきました。

★なぶらプロジェクトの4月第1便から9月最終便までの資機材、屋台村、支援物資、寄付金、義援金のご協力ご支援に感謝いたします。

(順不同)

大槌町社会福祉協議会、(株)YDK(遠野市)、遠野市、上鱒沢集会所佐々木館長、上鱒沢地区の皆様、県立大槌高等学校、花巻JA大槌支所、静岡県危機管理部、静岡県ボランティア協会、御前崎市、御前崎市社会福祉協議会、御前崎市商工会、御前崎市建設業組合、広和工業(有)、ハニーバス、菊川警察署浜岡交番、売茶坊まるよ、アート・スポット(有)、東海プランテーション(有)、御前崎市観光協会、ワークマン浜岡店、(株)浜岡綜研、東海清風園、灯光園、未来教育舎、(株)NTN御前崎製作所、カラオケウェブ、湯澤運輸(有)、(株)伊藤園、(有)片山運送、西島土木(株)、エイケン工業(株)、(株)植田組、(株)松下工務店、(有)拓磨工業、清水工業(株)、(有)伸光工業、マルマツ工業(株)、(株)大澤組、(株)三井組、(株)木村鑄造所、(株)静岡プラント、(有)森下プラスチック、びっくり青果、御前崎漁業協同組合、(株)池新田クレーン、片山運送、(有)野崎、(株)御前崎プラスチック、(有)岬加工、(株)野川商店、共和鉄工、港建設(株)、長谷川建設(株)、(株)御前崎工務所、GHしおさいの家、(株)川口興産、(株)日光水産、(株)橋本屋、(株)小塚建設、(株)長尾レッカー、(株)長尾モータース、(有)大東新聞センター、岡村化成(株)、(有)シンセイ工業、丸和化成(株)、タクミ建設(株)、佐々木じゅん(大槌高校避難所)、御前崎市議会議員(若杉泰彦、柳澤重夫、曾根正浩、阿南澄男)榛葉十三男、鈴木満、内山啓子、掛川VC、その他大勢の皆様ありがとうございました！

*いたらない点が多々あるとは存じますが何卒お許しくさせていただきますようお願い致します。

◆引き続き「なぶらプロジェクト」へのご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

*現在、大槌町の応急仮設団地の皆様へ早く元気になってもらいたいと思ひ手紙を届けるボランティア活動『御前崎なぶら「やすらぎレター」』を実施中です。